

林原美術館 NEWS

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART NEWS

vol.32
令和3年度

林原美術館に残る、藤原定家筆国宝『明月記』新出断簡

一般財団法人 林原美術館 館長 谷 一 尚

本年の巻頭は、当館蔵の、藤原定家筆の日記、国宝『明月記』の一部で、写本にも残されていない六行分の貴重な断簡(図)です。

少し煩雑ですが、書き起こすと、「相具少将 為歴 覽参閑院 敦通少将不□□□/相共見廻宜陽殿 敷 政門 宣仁門 陣座 軒廊 南/殿 仙華 明義 無名 左青瓊 殿上 神仙門/下侍 弓場/殿 校 書殿東面」
「仁壽殿西土廂代等 一如 大/内 日月花門如普通中□高大其南有華美鈞台/各廻西隔□ 内侍所 其南有反鈞殿 西為殿下御直 廬」となります。

五二歳の定家が、一六歳の息子為家を連れ天皇の里内裏である閑院殿の殿舎を見廻った建歴三年(一二一三)二月一六〜二二日の記事の断簡です。当館所蔵で林原一郎氏蒐集の『日本古筆手鑑』に貼付されていたもので、当初書かれた文書の裏面に記載の形跡から定家の真筆とされています。

この直前の原本に残る同年二月二日の記事に、順徳天皇近習の殆どが職を解かれ、知長、為家の二人のみ残りました(後日、二人追加)。この頃から、為家は殊寵を受け、八年後の承久の乱に巻き込まれていきます。後鳥羽院は早くから討幕の意志を持たれ、讓位された第一皇子の土御門天皇が討幕に反対、三年前に活発な第三皇子順徳天皇

に讓位させ、四月二日には院御所の高陽院殿(承久の乱謀議の場所、中御門洞院西大路)に入御し院と同居、やがて宮中に還御も六月六日からは為家のみを使者に密書の往来、翌年からは数日分が残るのみで承久二年(一二二〇)〜元仁元年(一二二四)は全欠、承久の乱に惨敗し、院は隠岐へ、順徳院は佐渡へ流されます。土御門院はお咎めなしでしたが、自ら土佐へ遷され、この年為家は北条時政孫で関東武士の宇都宮頼綱の娘と結婚、事無きを得、官位も最終は定家を超え正二位権大納言に至るのですが、定家が八〇歳で歿した後は、四四歳で復任しませんでした。

国宝『明月記』の原本は、筆者の盟友、為人氏が夫人貴実子さんの、旧華族で伯爵家の上冷泉家に婿入りし、第二五代当主となり襲蔵されている時雨亭文庫に収められています。為人氏よりいただいた本年の賀状には「空おほふ憂き黒雲に時津風 吹きゆく朝に春の日の陰」とあり、本誌上であえて紹介するとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

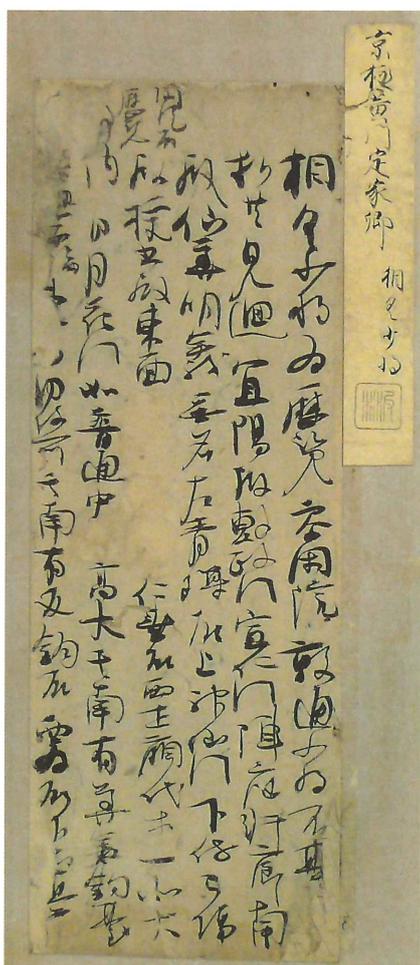


図 国宝『明月記』の原本の新出断簡

企画展

「遠・近・共・愉 旅の風景」

令和3年4月8日(木)～6月20日(日)

前期…4月8日(木)～5月23日(日)

後期…5月25日(火)～6月20日(日)

※前期・後期で一部入れ替え

旅と風景をテーマとし、岡山藩主池田家伝来の重要文化財「アジア航海図」や藩主が記した旅日記、旅を友とする文人や名所を描いた絵師の画をご覧いただきます。また、岡山県立岡山芳泉高等学校のご協力のもと、同校美術部の皆様による「岡山カルチャーゾーン三十六景」を展示します。瑞々しい感性がデジタル技術を駆使して切り取った現代の風景を、江戸時代に岡山の人々が楽しんだ、岡山の風景画巻と共に楽しんでみてください。



川口・虫明八景画巻 川口八景「円山晚鐘」(部分：前期) 狩野三信筆

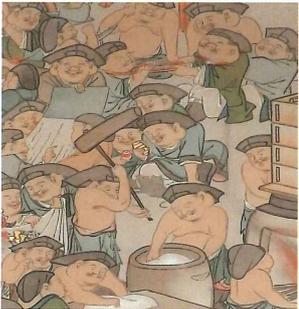
企画展

「美術品から、みつけ！」

「探して、見つけて、解き明かせ！」

令和3年7月10日(土)～9月5日(日)

美術品の制作には、その時代背景と共に制作者の思い入れやこだわりが込められています。例えば、「葡萄に栗鼠図」は一見関係がないような武士たちになぜ好まれたのでしょうか。福の神がたくさん描かれた「百福図」にはどのような意味があるのでしょうか。本展では、展示された美術品の中からキーワード画像を見つけ出し、親子そろって楽しく謎解きに挑戦できます。これまでにない新しい角度から作品に触れることで、新たな美術品の魅力に気づいていただけます。



百福図(部分) 河村芳舟筆

特別展

「第15回 お守り刀展覧会」

令和3年9月18日(土)～11月7日(日)

古くから続く、目に見えぬ魔から持ち主を守る「お守り刀」の精神は、今も我々の生活に息づき、新たなお守り刀が作られています。本展は総合・刀身・外装の三部門に、この度から新たに研磨部門を新設することで制作技術の向上をはかりつつ、お守り刀という日本刀文化の伝承にも寄与しています。併設展として現代刀匠が橋本龍太郎元内閣総理大臣をはじめ著名な方々へお納めした御刀などを展覧いたします。



短刀 銘 傘笠正峯作之 平成八年一月吉日 祝総理大臣就任記念 影仙寿

企画展

「アメイジング☆ぐれいず！」

釉が引き出す焼物の美」(仮)

令和3年11月18日(木)～令和4年1月16日(日)

大地から授かる土を原料とし、熟達した陶工の手で形作られ、激しい炎で焼かれることにより焼物は誕生します。そのままでも素朴な美しさを持ちますが、釉薬を用いることにより焼物はその魅力を増していきます。釉薬がもたらす美しいガラス質の光沢は、焼物に様々な色彩をまとうせ、描かれた意匠に輝きを与えます。本展では陶工が願いを込めて描いた意匠にも光をあてながら、ぐれいず⇨釉薬が用いられた館蔵の陶磁器をお楽しみいただけます。



色絵金襴手独楽形鉢

企画展

「遊びの文化

—和歌・蹴鞠・楽器のたしなみ— (仮)

令和4年1月27日(木)～3月31日(木)

平安時代の宮中では、歌会や蹴鞠、舞楽をはじめ、様々な技芸が披露されていました。そうした技芸には素養や礼節が求められたことから、後世では格式の高い「遊び」として広く親しまれています。本展では江戸時代の資料を中心に、岡山藩主池田家ゆかりの和歌資料や美しい装飾料紙の短冊、蹴鞠に関する装束や屏風絵のほか、琵琶・琴・笙の楽器類、遊戯具など、豊かな教養と遊びの文化をご覧いただきます。



乞巧奠・蹴鞠図屏風 (「蹴鞠」部分)

イベント

お茶会「行く春の茶会」

毎年ご好評を頂いております「お茶会」のご案内です。満開の桜も散り、夏に向けて生命の力強い息吹を感じるころ、茶室「竹明庵」にて季節と展示にちなんだ道具組で皆様をお迎えいたします。穏やかな春の一日をゆつたりとお過ごしください。

日時：令和3年4月18日(日) 10時～16時45分
(お茶席最終受付15時25分)

場所：林原美術館内中庭 茶室「竹明庵」
亭主：石田宗祥氏(速水流)

定員：50名(要予約)
参加費：1,200円(入館料別途・2割引)

トークイベント

「みつけた！ 私たちの三十六景」

令和2年度に完成した「岡山カルチャーゾーン三十六景」を制作した岡山県立岡山芳泉高等学校美術部の生徒さん、顧問の平尾教人先生、このプロジェクトを企画した岡山県立美術館の主任学芸員岡本裕子氏をお招きし、制作の裏話やプロジェクトを通して発見した岡山カルチャーゾーンの魅力を語り合います。

日時：令和3年5月23日(日) 13時30分～15時
出演：岡山県立岡山芳泉高等学校
美術部の皆様・美術部顧問 平尾教人氏
岡山県立美術館 主任学芸員 岡本裕子氏

場所：林原美術館内ロビー
定員：40名(要予約)
参加費：無料(入館料別途・2割引)

「〇〇、みつけ！ ミステリーツアー」

企画展「美術品から、みつけ！ 探して、見つけて、解き明かせ！」の関連イベントとして、展示担当学芸員による案内のもと様々なナゾ解きをしていただき、展示作品への理解を深めていただきます。

日時：会期中の土曜日 11時～(約1時間)
場所：林原美術館展示室内等
定員：先着20名
参加費：無料(入館料別途・2割引)

【刀剣講座のお知らせ】

特別展「第15回 お守り刀展覧会」の期間中は、刀匠の方を講師に迎え、鑑賞会や手入れ講習会などの、御刀に関するイベントを開催する予定です。展示とあわせてお楽しみいただける内容となっております。詳細は随時お知らせいたします。

林原美術館講座

当館所蔵の美術品を通じ、伝統文化をより広く、深く知っていただく機会として開催する美術館講座。昨年はコロナ禍のため開催できませんでしたが、改めて「林原の鍋島」と題して、館長の谷一尚が館蔵の鍋島焼にまつわるお話をいたします。皆様のご参加をお待ちしています。

日時：令和3年11月28日(日) 13時30分～15時
講師：谷一尚(当館館長)
演題：「林原の鍋島」

場所：林原美術館内ロビー
定員：30名(要予約)
参加費：友の会会員500円、一般600円
(入館料別途・2割引)

コンサート

「早春 和洋弦楽器の競演！」

箏VSチェロ

毎年大変ご好評を頂いております三船文彰氏のチェロコンサート。今年は二十五弦箏演奏家・小澤千絵子氏をお招きいたします。チェロと二十五弦箏の、夢の競演から生まれる美しい音色をお楽しみください。

日時：令和4年3月19日(土)
開場18時 開演18時30分

出演：チェロ 三船文彰氏
二十五弦箏 小澤千絵子氏

場所：林原美術館内 特設ステージ
定員：60名(要予約)
参加費：2,600円(入館料別途・2割引)

熊本県立美術館展示情報

特別展「林原美術館の名宝展」(仮)

令和3年7月16日(金)～9月5日(日)

熊本城二の丸広場に位置する熊本県立美術館。古代から現代美術までを展示する総合美術館として、熊本県民や熊本を訪れる観光客にも親しまれています。昨秋に開催を予定していた当館の名宝展もコロナ禍で延期になりましたが、改めて開催が決定しました。内容もさらに充実、国宝「太刀銘吉房」をはじめ国宝・重要文化財を多数含む名品が、前川國男氏が手掛けた名建築の中で一堂に展示されます。



熊本県立美術館外観

※(イベント)の掲載内容は変更になる場合がございます。



イベント

※イベント上の掲載内容は変更になる場合があります。

関西大学・林原美術館 公開講座

当館では関西大学との共同研究により、岡山藩主池田家まつわる資料の調査を進めてきました。それらによって得られた新たな知見や資料の重要性など、専門の先生方に解説いただく公開講座を開催します。3回目となる今回は、二代岡山藩主の池田綱政が記した旅日記を中心に、奈良大学文学部准教授 中尾和昇先生にお話を伺います。

日時：令和3年6月13日(日) 13時30分～15時
講師：中尾和昇氏(奈良大学文学部准教授)
演題：「池田綱政が記した旅日記」
場所：林原美術館内ロビー
定員：40名(要予約)
参加費：無料(入館料別途・2割引)

シンポジウム

「岡山池田家の文事―大名家資料の総合調査とその公開―」(仮)

関西大学との共同研究について、これまでの調査・研究によって得られた知見や成果を各専門の先生方に発表いただくシンポジウムを開催する予定です。詳細は決まり次第お知らせいたします。

日時：令和4年3月12日(土) 13時～16時30分
共催：関西大学、林原美術館
場所：岡山県立図書館 多目的ホール
(岡山県岡山市北区丸の内2丁目)(予定)
定員：60名(要予約)
参加費：無料

臨時休館等のお知らせ

自然災害の発生や悪天候により、事前の告知なく、開館時間の短縮や臨時休館する場合があります。その場合は、原則入館料の払い戻しは行いませんのでご了承ください。臨時休館等の条件は当館ホームページをご覧ください。なお、緊急のお知らせはフェイスブック、ツイッターなどでも発信しておりますので、ご確認ください。

「デジタル常設展」のご紹介

当館ロビー等に設置のタッチパネルで、ご自由にご覧ください。4K超高精細技術により、通常の展示では判別しにくい細部まで驚きの超拡大映像を体験できます。

「平家物語絵巻」・国宝「太刀銘吉房」の他、重文「アジア航海図」・「坤輿万国全図」等、大航海時代の詳細な世界をお楽しみください。また、当館を代表する美術品資料を掲載した図録『林原美術館名品選』の全230件余りに及ぶ画像も常時ご覧いただけます。(※貸館期間は除きます。)

理事・評議員・監事のご紹介

代表理事 長瀬玲二 評議員 白井洋輔
理事 谷一尚 評議員 高次秀明
理事 黒住章子 評議員 長瀬 洋
理事 釘持彰宏 評議員 原 憲一
理事 越宗孝昌 評議員 原 憲一
(五十音順)
※令和3年3月現在

施設の利用・貸し出し

当館では、展示室・ロビー・庭園・茶室などを使用し、非日常でのコンサート、お茶会、パーティーなどにご利用いただいております。ご希望の方は、所定の用紙での申し込みが必要となりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

対象	補足内容	単位	料金
展示室	(a)平日	1日につき(午前9時30分～午後6時)	37,500円
	(b)土・日・祝日(振替休日を含む)	上記時間帯外の使用の場合は時間案分料金が加算されます。	75,000円
	(c)展示期間中の閉館時間帯(～午前10時、午後5時～)		
ロビー		1時間につき	3,300円
庭園			
茶室			
電気・空調	展示室・ロビーを使用の場合	1時間につき	1,600円
ピアノ	本体	1時間につき	3,300円
	調律料(実費請求とします。)	1回につき	35,000円
附属設備	机、椅子等の備品類		別途必要
時間外管理費	通常の勤務(午前9時30分～午後6時)時間外に利用の場合	1時間につき	別途必要
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・時間単位設定の場合、1時間未満の時間は1時間として計算します。 ・使用時間には、準備・片付けなど会場を占有する時間も含まれます。 ・林原美術館「友の会会員」は、特別料金にて利用できます。(一部対象外あり) ・展示室内の空調は、美術品優先の設定となります。 ・本規定は、令和3年1月1日現在です。 		

収蔵品概要と建物のご紹介

実業家でありながら、古美術を愛好した、故林原一郎が収集した刀剣・甲冑・陶磁器、旧岡山藩主池田家旧蔵の能面・能装束・絵画・書籍・蒔絵工芸品など、国宝3件・重文26件を含む約9,000件を収蔵しています。本館は、世界的建築家ル・コルビュジエに師事した日本を代表する前川國男氏の設計により、純日本の流れを感じられます。また、ミシユラン・グリーンガイドでは、当館全体として(★)、重要文化財「洛中洛外図屏風」(★★)や能装束(★)の3件が掲載されています。

「友の会」募集のご案内

● 会員の種類・年会費
 【1年】新規3,000円 (入会継続)2,700円
 【3年】7,200円 (10月以降入会) 1,600円
 【1年】新規30,000円 (入会継続)27,000円
 【3年】72,000円 (10月以降入会) 15,000円

● 有効期限
 ● 1年会員 令和3年4月1日～令和4年3月31日
 ● 3年会員 令和3年4月1日～令和6年3月31日

● 会員の特典
 ①入館料無料または割引料金
 【企画展】ご本人と同伴者1名様 無料
 【特別展】ご本人と同伴者1名様 割引料金
 ②展覧会・イベントにご情報の送付
 「林原美術館NEWS」のお届け
 ③イベントへの参加は、会員割引料金(一部対象外でのご案内)
 ④貸館の優待
 ⑤スタンブラリーで当館関連グッズをプレゼント
 ⑥ミュージアムグッズを1割引で販売(一部対象外)
 ⑦喫茶コーナーのお飲み物が50円割引
 ⑧会員1名様を含む、5名様以上のグループであれば、学芸員による特別解説を実施(要予約)
 ご入会の申し込みおよび詳細は、美術館スタッフまでお尋ねください。

〒700-0823 岡山市北区丸の内二七一ー一五
 一般財団法人 **林原美術館**
 TEL 〇八六―二二三―一七三三
 FAX 〇八六―二二六―三〇八九
 http://www.hayashibara-museumofart.jp
 f @hayashibara.moa @hayashibara1964